

## 学校経営概要

### 三浦市で育てたい子ども像

○心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども

現在、そして将来にわたって、「人として自らを信じ、向上心をもって生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども

自分が置かれている状況を肯定的にとらえ、「三浦の魅力を心に温めて生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

自己中心的に物事をとらえるのではなく、「他も尊重しながら生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

### 育てたい子ども像

学校スローガン 「自分らしく いきいきと」

◇めざす子ども像 **学力向上=授業改善**

・自分をのぼそうとする子

・人とつながろうとする子

・たくましくなろうとする子

《《《三崎中学校校訓「夢・自立・共生」》》》

・夢 夢を育む

・共生 共に生きる

・自立 自分を創る

### 学校経営に関する基本方針

○めざす職員像（スローガンを実現するために目指す具体的な像）

◇プロ意識と一体感「学びをデザインする高度専門職としての自覚と、チームによる複眼的な指導」

◇プロ意識: カリマネ及び40分の授業マネを磨き、教育の質を追究する教職員。

◇一体感: チーム担任制により複数の目で子どもを見守り、困難を分かち合う教職員。

◇創造的な余白: 生み出した時間を教材研究や児童理解の「雑談」に充て、自らをアップデートし続ける教職員

○指導方針（指導する際の基本となる考え方）

自己肯定感と∞とサキドリ

◇自己肯定感を高める（しっかり認めて、丁寧に教える）

◇子どもの可能性は「∞」である（限りなく伸ばす）

◇サキドリ（児童の学力向上、自己調整・児童の資質能力、社会性・教師の組織的研究）

### 本年度の重点

児童一人ひとりが学びに向かう力を発揮できる学校づくりの推進（自分をのぼそうとする子）

40分授業とカリキュラム・マネジメント（カリマネ）による授業改善。

ICT（AIドリル等）や多層指導モデルMIMを活用した個別最適な学びの充実。

チーム担任制による組織的な児童理解と支援の深化（人とつながろうとする子）

学年部制を活用し、教職員が複眼的に児童を見守り、困難を分かち合う体制の構築。

インクルーシブ教育の推進と、安心して本音を言える温かな学級風土の醸成。

地域・家庭と協働した「探究的な学び」と「安全の保障」（たくましくなろうとする子）

地域の特性を活かした体験活動と座学を往還する課題解決学習の展開。

学校・家庭・地域の三者が共通目標に向けて「自分たちの役割」を振り返る協働型評価の実施。